

令和7年度 第6回まちづくりミーティング

日時：令和8年2月5日（木）10：30～11：30

場所：市民交流プラザふくちやま 3階 市民交流活動室

団体：福知山ボランティア連絡協議会

○主な話し合いの内容

市長： 様々な場所で活動されている市民の団体を、すべて把握できているわけではないので、このまちづくりミーティングの機会に内容を教えていただいたり、取組みに対する思いを聞かせていただくことを非常にありがたく思っている。

ボランティア連絡協議会の皆様については、各団体の横のつながりを生み出されており、そのことにより団体の活動の幅が広がったり、進化を図ることができたりすると思う。

【意見交換】

団体：（自己紹介）

- ・阪神淡路大震災の時に初めてボランティアを経験し、その後、仕事の中で福祉に携わることで様々な経験をしてきた。趣味を通じて地域活性化をしていきたいという思いで、ボランティア団体を立ち上げた。
- ・自分の培ってきた経験を活かして、若者たちのイベントを盛り上げたいと考えている。また耕作放棄地を活用して自然栽培の農業に取り組んでいる。
- ・大人になってから手話の勉強を始めて、手話通訳士として活動をしているところ。能登への支援に行ったりする中で多くの現状を目の当たりにするとともに様々な方とコミュニケーションをとることができた。
- ・仕事でベルマークにかかわる中で魅力を感じ、現在でも活動を続けている。ベルマーク取組みを多くの方に知ってもらい、「教育資金の地産地消」を進めていきたいと考えている。
- ・教育現場で仕事をしながら、プライベートでは古民家を改修してコミュニティスペースを提供している。子どもたちに「様々な職業を知ってもらいたい」という思い、そして子どもと保護者が楽しく人生を過ごしていけるようにという思いをもって活動をしている。

連絡協議会は 55 団体で構成されており、様々な講座やイベントを行っているところである。

市長： 福知山市内には高等学校が 6 校あり、社会経験ができる場の醸成は非常に大事で将来を決めていくうえできっかけづくりになると思う。

また、市役所の職員も行政の仕事をしているだけでは、見えなくなってしまうこともあると思うため、職員も地域に出て活動をしていくことは非常に大切であ

ると考えている。

団体： 昔から人と人のつながりは非常に大切だと教わってきた。お互いが思いやって、できることをちょっとずつでも助け合っていこうという気持ちが必要だと思っている。

市長 農業による収入で、生活することはできているか。

団体： 初めから農業機械など資機材を一式そろえて、肥料・農薬を使うなどして取り組み始めるとプラスにするのは厳しいと思う。ただ育て方も含めてやり方を考えて取り組んでいくことで、農業一本での生活は十分可能であると思う。私は自然栽培で進めているので、種さえあれば土壌の環境によって栽培が可能。土壌の中にしっかり微生物が育つまでの期間は大変だが、現在も生活はできているのでやり方を広めていきたいと思う。

市長： 現在も人が集まってきたりしているのか。

団体： 関西圏から 30 人ぐらい育て方を学ぼうとされる方が集まることもある。安心安全な食べ物が食べきれないぐらいできることを目標のやっていきたい。

市長： 同時通訳をしていただくこともあるが、どのようにされているのか。

団体： 事前の原稿があれば、知らない言葉を調べ、かつより簡単な言葉に直す作業を行ってから当日に挑んでいる。また当日話を聞いて、言葉を変換して、手話に変えて手話で表現するというのを同時に行っている。

市長： ひとり一人に寄り添った居場所の提供は市役所でも進めているところだが、行政だけでなく、ボランティアの皆様が提供される居場所は非常に重要であると思っている。それが市内の強さになると思うので、これからの活躍も期待している。

